

市民活動団体の大学との連携に関するアンケート調査集計結果

相模原市市民・大学交流センター指定管理者

公益社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアム

調査対象：当施設の登録団体

実施期間：2017年5月10日～5月31日

調査団体数： 99団体

調査票郵便未達数： 3団体

回答数： 56団体

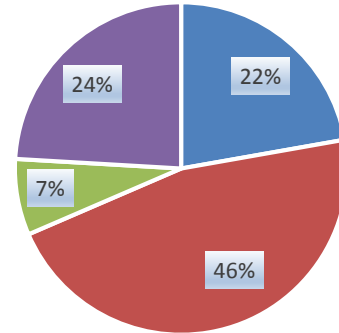
回答率： 58%

貴団体の大学との係わりについてお尋ねします

相模原市近郊にはさまざまな大学、短期大学がありますが、相模原が「大学のまち」「学生のまち」であると感じられますか（あてはまる番号1つに○）。

	回答数	割合
1. とても感じる	12	22%
2. すこし感じる	25	46%
3. どちらとも言えない	4	7%
4. あまり感じない	13	24%
5. まったく感じない	0	0%
計	54	100%

- 1. とても感じる
- 2. すこし感じる
- 3. どちらとも言えない
- 4. あまり感じない

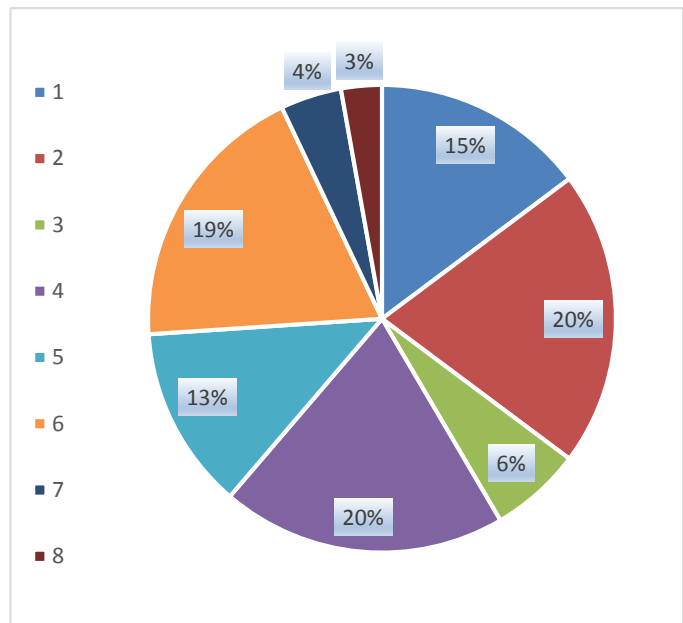


「大学のまち」「学生のまち」であると「とても感じる」(22%)、「すこし感じる」(46%)の合計が68%を占めた。

また「まったく感じない」が0%であることから、相模原市は「大学/学生のまち」であると「感じられる」まちであることが伺える。

相模原にさまざまな大学、短期大学があることでどのようなメリットがあると思われますか（あてはまる番号すべてに○）。

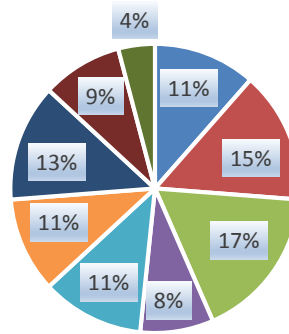
	回答数	割合
1. 学術研究における情報発信や国際交流、人材交流などを通じて、都市格の向上に寄与している	21	15%
2. 大学との連携や、大学・学生がもたらす消費行動により、産業・経済の活性化に寄与している	29	20%
3. 相模原のまちの発展を担う優秀な人材を集積・輩出している	9	6%
4. 大学と保幼小中高の連携や市民向け公開講座の開催により、地域の教育力の向上に寄与している	28	20%
5. 芸術系・宗教系大学をはじめ各大学の研究活動等により、文化・芸術等の振興に寄与している	18	13%
6. ボランティアなどの社会貢献活動や地域活動に学生が参画し、地域活性化に寄与している	27	19%
7. その他	6	4%
8. 特にない	4	3%
計	142	100%



回答数は項目毎に分散した。この結果により、多様なメリットを感じていることがわかり、特に都市格の向上、経済の活性化、教育力の向上、地域の活性化に寄与していることが伺える。

相模原近郊の大学や学生・教職員と、どのような関わりを持たれたことがありますか（あてはまる番号すべてに○）。

	回答数	割合
1. 図書館や体育館等の大学施設を利用したことがある	14	11%
2. 大学祭等の催しに参加したことがある	18	15%
3. 市民向けの公開講座を受講したことがある	21	17%
4. 学生・教職員が行う調査・研究（アンケート等）に協力したことがある	10	8%
5. 仕事での協力やアドバイスを受けたことがある	14	11%
6. 地域の課題（防犯対策やまちおこし）解決のために一緒に活動したことがある	13	11%
7. お祭りや清掃などの地域活動を学生・教職員と一緒にやったことがある	16	13%
8. その他	11	9%
9. 特にない	5	4%
計	122	100%

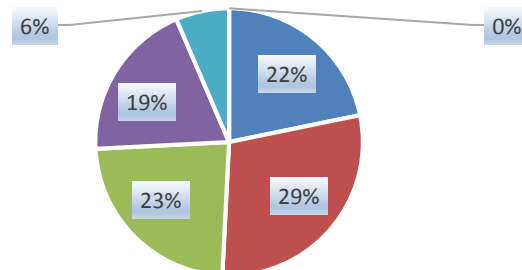


- 1. 図書館や体育館等の大学施設を利用したことがある
- 2. 大学祭等の催しに参加したことがある
- 3. 市民向けの公開講座を受講したことがある
- 4. 学生・教職員が行う調査・研究（アンケート等）に協力したことがある
- 5. 仕事での協力やアドバイスを受けたことがある
- 6. 地域の課題（防犯対策やまちおこし）解決のために一緒に活動したことがある
- 7. お祭りや清掃などの地域活動を学生・教職員と一緒にやったことがある

相模原近郊の大学や学生・教職員と何らかの関係で関わりのあることがわかる。特に15%以上を占める市民向け講座の受講と大学祭等への参加は身近な存在である。

相模原近郊の大学や学生・教職員が、地域の住民と関わりを深めるために、どのような取組を行うことが望ましいと思われますか（あてはまる番号すべてに○）。

1. 図書館や体育館等の大学施設を地域の住民に開放する	27	22%
2. 公開講座等の市民が参加できる催しを積極的に開催する	36	29%
3. 地域の課題（防犯対策やまちおこし）解決のために、学生・教職員が知恵や力を発揮する	29	23%
4. お祭りや清掃などの地域活動に学生・教職員が積極的に参加する	24	19%
5. その他	8	6%
6. 特にない		0%
計	124	100%

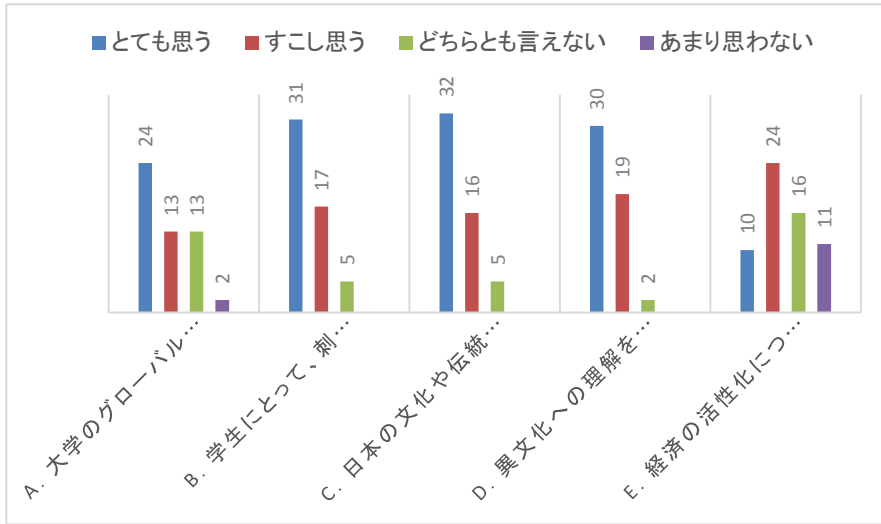


- 1. 図書館や体育館等の大学施設を地域の住民に開放する
- 2. 公開講座等の市民が参加できる催しを積極的に開催する
- 3. 地域の課題（防犯対策やまちおこし）解決のために、学生・教職員が知恵や力を発揮する
- 4. お祭りや清掃などの地域活動に学生・教職員が積極的に参加する
- 5. その他

相模原市近郊の大学や学生教職員が地域の住民と関わる取組が各方面で望まれている。そして、既に図書館の解放や市民講座の開講を行っている大学がある。周知が行き届いていないとすれば、その広報が必要である。

留学生を受け入れることによって想定される次のa~eの影響について、どのように思われますか（a~eのそれぞれについてあてはまる欄1つに○）。

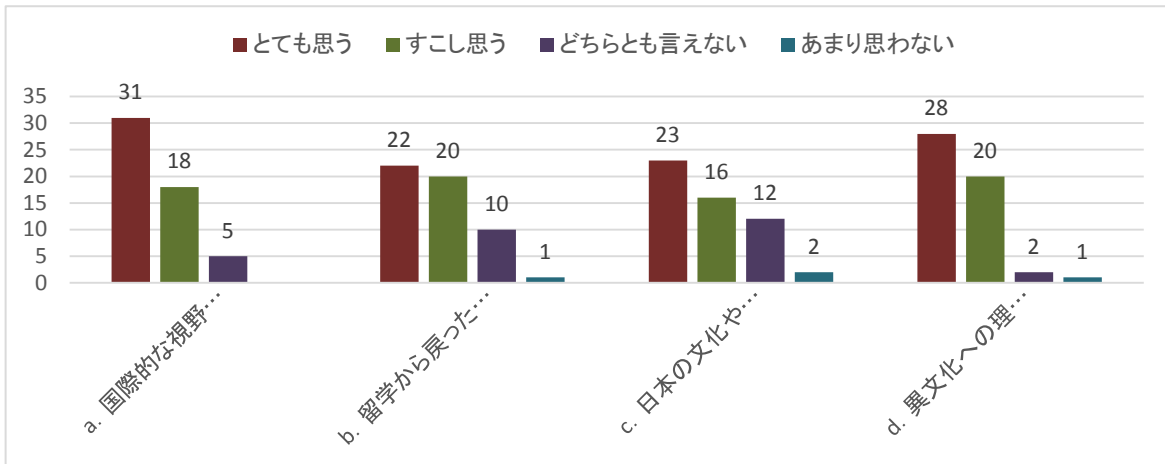
	とても思 う	すこし思 う	どちらと も言えな い	あまり 思わな い	まった く思わ ない
a. 大学のグローバル化が進み、大学の国際競争力が高まる	24	13	13	2	
b. 学生にとって、刺激になる（語学習得、研究意欲の向上など）	31	17	5		
c. 日本の文化や伝統について、海外に発信される機会が増える	32	16	5		
d. 異文化への理解を深める機会が増える	30	19	2		
e. 経済の活性化につながる（消費拡大、労働人口の増加など）	10	24	16	11	



留学生を受け入れることは、大学の国際競争力、学生への刺激、日本文化の海外発信、異文化理解等に影響を与えらると思われ、それぞれ約30%近くを占めている。留学生は各方面の活性化に繋がると期待している。

海外に留学する学生が増えることによって想定される次のa~dの影響について、どのように思われますか（a~dのそれぞれについてあてはまる欄1つに○）。

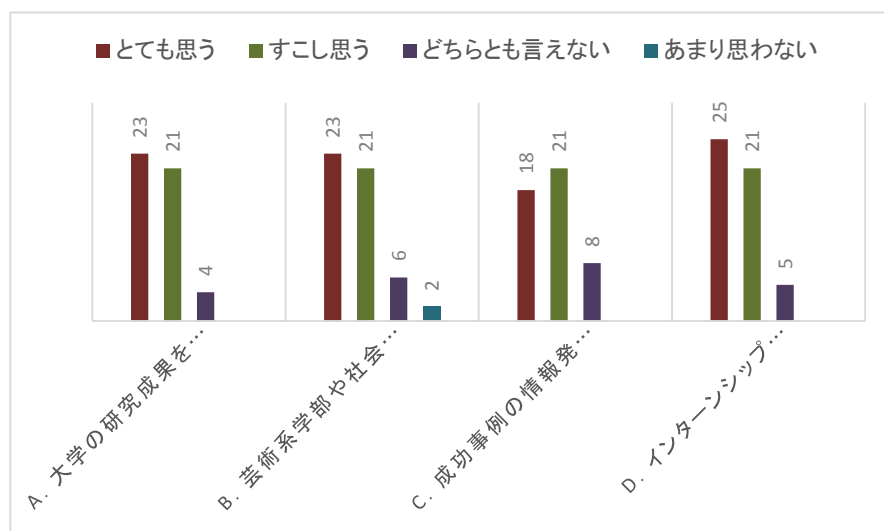
	とても思 う	すこし思 う	どちらと も言えな い	あまり 思わな い	まった く思わ ない
a. 国際的な視野を持った人材育成につながる	31	18	5		
b. 留学から戻った学生が、周りの学生にいい刺激を与える	22	20	10	1	
c. 日本の文化や伝統について、海外に発信される機会が増える	23	16	12	2	
d. 異文化への理解を深める機会が増える	28	20	2	1	



海外に留学する学生が増えることによって半数以上が何らかの影響があると思っていることが伺える。

大学と企業・行政が連携して産業を活性化させるため、次のa～dの取組が重要だと思われるか

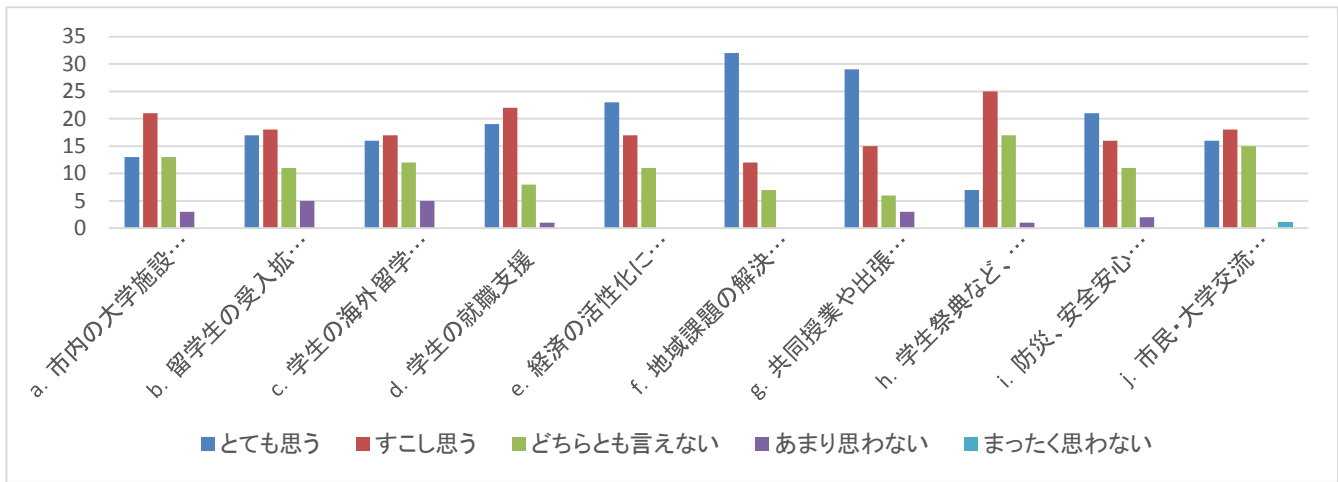
	とても思 う	すこし思 う	どちらと も言えな い	あまり 思わな い	まった く思わ ない
a. 大学の研究成果を活用し、新たな産業分野の創出や伝統産業の活性化をすすめる	23	21	4		
b. 芸術系学部や社会科学系学部の有するノウハウや専門性を、商品企画・開発や製品デザイン、企業経営などに活用する	23	21	6	2	
c. 成功事例の情報発信、大学と企業の出会いの場や機会の提供など、産学連携の促進をコーディネートする仕組みを強化する	18	21	8		
d. インターンシップ（学生による企業等での就業体験）の充実など、人材育成を図るため、大学と企業の連携を強化する	25	21	5		



市民団体は大学と企業・行政が連携して産業を活性化させるのに重要と思っている。いずれの項目も重要度は高い。

大学との交流を推進するために、次のa～jの取組をすすめるべきだと思われるか

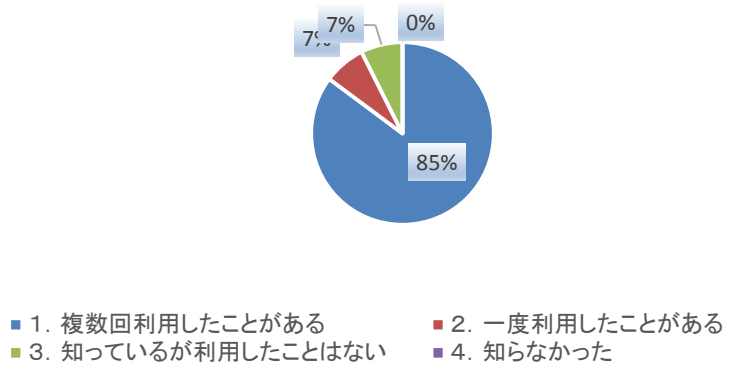
	とても思 う	すこし思 う	どちらと も言えな い	あまり 思わな い	まった く思わ ない
a. 市内の大学施設の誘導、整備の支援	13	21	13	3	
b. 留学生の受入拡大の支援	17	18	11	5	
c. 学生の海外留学の支援	16	17	12	5	
d. 学生の就職支援	19	22	8	1	
e. 経済の活性化に向けた、大学と企業・行政が連携した取組の促進	23	17	11		
f. 地域課題の解決や地域活性化に向けた、大学と地域が連携した取組の促進	32	12	7		
g. 共同授業や出張授業の充実など、小学校・中学校・高校と大学が連携した取組の促進	29	15	6	3	
h. 学生祭典など、学生の主体的活動の促進	7	25	17	1	
i. 防災、安全安心のまちづくりなど、地域コミュニティ等への学生の参画の促進	21	16	11	2	
j. 市民・大学交流センターの取組など、交流事例の国内外への発信	16	18	15		1



大学との交流を推進するためには「地域課題の解決や地域活性化に向けた」連携の取組をすべきとの回答が集中した。特に、「大学と地域が連携した取組」と「出張授業などで小・中・高校と大学の連携した取組」をすすめるべきと伺える。

市民・大学交流センター（ユニコムプラザさがみはら）は、生涯学習事業や市民活動の会場としてもご活用いただける施設です。この施設を利用したことがありますか

(あてはまる番号1つに○)。	回答数	割合
1. 複数回利用したことがある	46	85%
2. 一度利用したことがある	4	7%
3. 知っているが利用したことはない	4	7%
4. 知らなかった		0%
計	54	100%



市民・大学交流センター（ユニコムプラザさがみはら）を複数回利用したことがある団体が全体の85%を占めており、高い利用率であることが伺える。生涯学習事業や市民活動の会場として不可欠な施設となっている。

行政（相模原市）に対して大学生や学生に関する取組みで期待したい内容がありましたらお書きください。

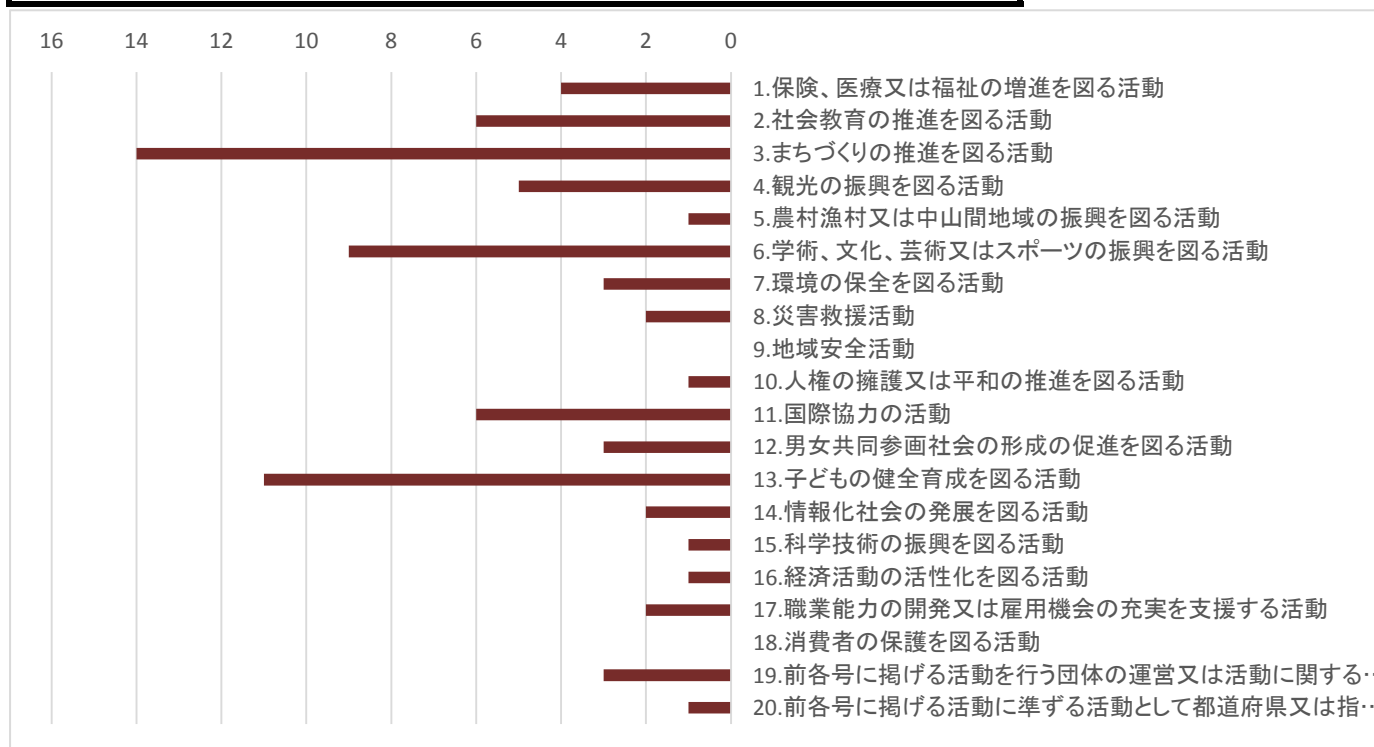
具体的な内容は、調査結果別紙「市民活動団体の大学との連携に関するアンケート調査票・記述欄まとめ」1～2ページを参照。

貴団体の大学との連携・交流の取組についてお尋ねします

大学との連携・交流があれば、代表的な事例を1つご記入ください。

具体的な事例は、調査結果別紙「市民活動団体の大学との連携に関するアンケート調査票・記述欄まとめ」3～6ページを参照。尚、各事例の属する分野は以下の通り。

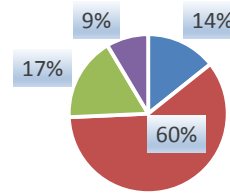
1.保険、医療又は福祉の増進を図る活動	4
2.社会教育の推進を図る活動	6
3.まちづくりの推進を図る活動	14
4.観光の振興を図る活動	5
5.農村漁村又は中山間地域の振興を図る活動	1
6.学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	9
7.環境の保全を図る活動	3
8.災害救援活動	2
9.地域安全活動	0
10.人権の擁護又は平和の推進を図る活動	1
11.国際協力の活動	6
12.男女共同参画社会の形成の促進を図る活動	3
13.子どもの健全育成を図る活動	11
14.情報化社会の発展を図る活動	2
15.科学技術の振興を図る活動	1
16.経済活動の活性化を図る活動	1
17.職業能力の開発又は雇用機会の充実を支援する活動	2
18.消費者の保護を図る活動	0
19.前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動	3
20.前各号に掲げる活動に準ずる活動として都道府県又は指定都市の条例で求める活動	1



大学との連携・交流が占める活動の多くは「まちづくりの推進」「学術、文化、芸術又はスポーツの振興」「子どもの健全育成」であることがわかる。

前問で実施された大学との連携・交流事例は、主に何を契機に始めましたか(あてはまる番号1つに○)

	回答数	割合
1.主に大学からの働きかけによる	5	14%
2.主に貴団体からの働きかけによる	21	60%
3.主に地域の中間組織、他団体からの働きかけによる	6	17%
4.その他	3	9%
計	35	100%



- 1.主に大学からの働きかけによる
- 2.主に貴団体からの働きかけによる
- 3.主に地域の中間組織、他団体からの働きかけによる
- 4.その他

市民団体からの働きかけで始まった大学との連携・交流は全体の60%を占める。

貴団体の連携・交流の具体的なニーズについてお尋ねします

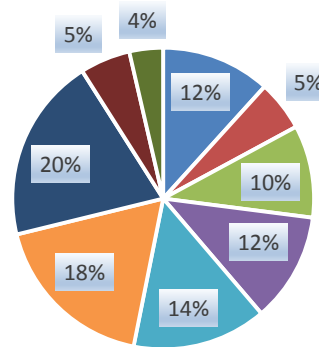
大学・学生との連携・交流を実施したいテーマについて3つまでご記入ください。また、実施にあたり貴団体の強みと弱みをご記入ください。

具体的なテーマは、調査結果別紙「市民活動団体の大学との連携に関するアンケート調査票・記述欄まとめ」6～10ページを参照。

貴団体の活動の課題についてお尋ねします

活動するうえでの課題についてお答えください(あてはまる番号すべてに○)。

	回答数	割合
1.活動主体が広がっており、また活動領域も多様化し、一層の創意工夫が必要である	13	12%
2.中間支援組織が活動の多様化に対応できていない、ネットワーク化や行政との連携が必要である	6	5%
3.活動の発展段階に応じた支援や専門的な支援が必要である	11	10%
4.活動の場の確保が難しく、使用可能物件の情報、拠点の整備が必要である	13	12%
5.市民活動団体間の連携や地域課題解決に向けた多様な出会いの場が必要である	16	14%
6.人材の確保や人材のマッチング支援が必要である	20	18%
7.活動資金を確保する必要がある	22	20%
8.行政の職員におけるコーディネートの役割及び役所機能の強化が必要である	6	5%
9.その他	4	4%
計	111	100%



- 1.活動主体が広がっており、また活動領域も多様化し、一層の創意工夫が必要である
- 2.中間支援組織が活動の多様化に対応できていない、ネットワーク化や行政との連携が必要である
- 3.活動の発展段階に応じた支援や専門的な支援が必要である
- 4.活動の場の確保が難しく、使用可能物件の情報、拠点の整備が必要である
- 5.市民活動団体間の連携や地域課題解決に向けた多様な出会いの場が必要である
- 6.人材の確保や人材のマッチング支援が必要である
- 7.活動資金を確保する必要がある
- 8.行政の職員におけるコーディネートの役割及び役所機能の強化が必要である
- 9.その他

活動するうえでの課題の20%が「活動資金の確保」にあることが伺える一方、人材の確保や人材のマッチング支援が必要とされている。

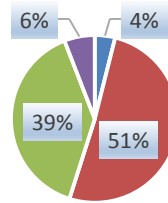
前問の課題をより具体的にご記入ください。

具体的な課題は、調査結果別紙「市民活動団体の大学との連携に関するアンケート調査票・記述欄まとめ」10～13ページを参照。

貴団体のPRについてお尋ねします

市民・大学交流センター（ユニコムプラザさがみはら）には、地域活動、市民活動など、さまざまな地域の情報を発信する展示スペース「地域情報コーナー」があり出展団体を随時募集しています。添付資料1「地域情報コーナー出展募集要領」をご覧ください。地域情報コーナーを貴団体で利用することについて（あてはまる番号1つに○）。

	回答数	割合
1. 利用したいので説明を聞きたい	2	4%
2. 検討してみたい	26	51%
3. 今は必要ない	20	39%
4. 興味はない	3	6%
計	51	100%



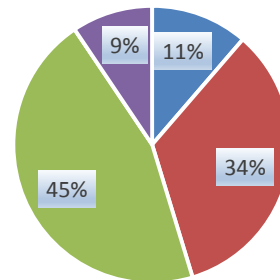
- 1. 利用したいので説明を聞きたい
- 2. 検討してみたい
- 3. 今は必要ない
- 4. 興味はない

ユニコムプラザさがみはらの地域情報コーナーの利用を検討したいと考える団体が51%を占める。情報発信の場として、有効なスペースであると考えられる。

市民・大学交流センター（ユニコムプラザさがみはら）では、地域活動、市民活動など、さまざまな情報を発信・交流するイベント「ユニコムプラザまちづくりフェスタ」を今年度も開催します。添付資料2「第5回ユニコムプラザまちづくりフェスタ実施要項」をご覧ください。貴団体がこのイベントに出展することについて（あてはまる番号1つに○）。

	回答数	割合
1. 出展したいので説明を聞きたい	6	11%
2. 検討してみたい	18	34%
3. 今年は見送り	24	45%
4. 興味はない	5	9%
計	53	100%

- 1. 出展したいので説明を聞きたい
- 2. 検討してみたい
- 3. 今年は見送り
- 4. 興味はない



ユニコムプラザさがみはらまちづくりフェスタへ「出展したい」「検討してみたい」の合計は47%を占めた。これに応えるためには、出展者の要望を精査しつつテーマを定め、学生の協力を得て斬新なアイデアを取り入れ、フェスタ開催後も市民・大学との交流をフォローしていきたい。

その他

大学との連携・交流、ニーズ、課題、PRについてその他自由にご記入ください。

具体的な自由意見は、調査結果別紙「市民活動団体の大学との連携に関するアンケート調査票・記述欄まとめ」13～15ページを参照。